

### ■米国：PacifiCorp 社、石炭火力 20 基を廃止し 700 万 kW の再エネを導入

2019 年 10 月 3 日付のエネルギー専門誌によると、米国西部を中心として事業展開する電力会社 PacifiCorp 社は 10 月 3 日、2025 年までに 700 万 kW の再生可能エネルギーと蓄電池を導入し、所有する 24 基の石炭火力電源の内、2038 年までに 20 基を廃止すると発表した。これは、同社の今後 20 年間にわたる統合資源計画（IRP：Integrated Resource Plan）のドラフト版で示されており、石炭火力については、7 基の早期廃止、および 2030 年までに約 280 万 kW、2038 年までに約 450 万 kW を廃止する計画である。10 月 18 日には、同社が事業を営んでいる 6 つの州で長期戦略を発表するとし、その中に、風力、太陽光+蓄電池、400 マイル（約 640km）の送電線建設計画が含まれる。